

くらしを見つめる 私たちの機関紙

こーぷ・しまね

CO・OP Shimane

2025

8

vol.484



表紙:「産直こめたまご」飼料米田植え交流会

おかえり! 私たちの「産直こめたまご」…8P

Contents

- 2P ◆生協しまね第41回通常総代会報告
- 8P ◆おかえり! 私たちの「産直こめたまご」
- 9P ◆総代募集 〜あなたの想い・声が生協に届く〜
◆わたしのお気に入り「からし高菜」
- 10P ◆「葉っぱー」の産地、津軽産直組合へ行ってきましたー!
- 12P ◆みんなあつまれ
- 14P ◆フードバンクしまね「あったか元気便(夏休み便)」
パッキングボランティアを募集します!
◆災害支援基金にご協力をお願いします
- 16P ◆みんなのくらぶ 子育てくらぶ「のんびりチューリップクラブ」(安来市)



雲南市 いちにのさん



生協しまね
Instagramは
こちらから



国際協同組合年
協同組合はよりよい世界を築きます



生協しまね 第41回

通常総代会報告

6月17日(火)、松江市のくにびきメッセにて、第41回通常総代会を開催しました。

通常総代会は、私の暮らしと生協のこの1年を振り返り、これからの1年、私の暮らしに生協をどう活かすか、どんな応援があったらいいのかを考えていく場です。さらに、私の暮らしをもっと豊かにするために、生協がどうあったらよいのかを考える場でもあります。

- 第1号議案 2024年度の振り返りと2025年度方針について
- 第2号議案 2024年度決算及び剰余金処分案について
- 第3号議案 2025年度予算について
- 第4号議案 役員報酬の限度額（総額）について

理事会あいさつ〈抜粋〉

昨年生協しまねは創立40周年を迎えることができました。今後さらに、地域の期待に応えられる組織となるよう、「誰もが安心して住み続けられる地域社会」の実現に貢献していきたいと思います。

今年は「被爆・戦後80年」という節目の年です。1951年、日本生協連は創立宣言で「平和とよりよい生活のために」という理念を掲げ、平和がくらしの前提になると宣言しています。それ以来、全国の生協は平和を願い、様々な平和の活動に取り組んでいます。そして、今年全国の生協から寄せられた平和への思いをもとに「2025年わたしたちの平和宣言」が作成され、第75回日本生協連通常総会において採択されました。生協しまねとしても皆さんとこの平和宣言を確認し、日々のくらしの中で“平和”を感じ「“平和”について考える」きっかけの場をつくっていききたいと考えています。



副理事長
石原 淳子

組合員からの メッセージ

4名の方にメッセージを發表いただきました

さすが生協



出雲支所 象谷 五十美さん

昨年の7月9日の豪雨により出雲市大社町日御碕線の道路が崩落し日御碕地区が孤立した時のことです。崩落した区間の歩道は立ち木の間を通る形で数日後にできましたが、崩落した大社側に車がないと買い物にも行けない状態でした。そんな中、生協は漁船を確保して宇龍港へ注文した品物を届けていただきました。天候により届けるのが翌日になった週もありましたが、欠品を心配せずに注文できました。暑い中1か月間重たいものを背負ったり抱えたりしながら急な坂を登り降りしていたので、本当に助かりました。友達から「さすが生協だね」と言われました。

生協のある生活



浜田支所 柴田 雅子さん

私は子どもの頃から生協のある生活で育ち、息子もまた生まれたときから生協のある生活で育ちました。そんな息子が進学で春から家を出ました。この春からは息子への差し入れも考えながらカタログを見ています。今までは、質より量、とにかく時短できるものを選んでいましたが、これからは自分のために買ったことのない気になる商品を注文してみたいと思います。しかし、つい、いつも頼んでいた商品を見つけて入力しては「あ、もうこんなに食べんわ」と言いながら注文を繰り返しています。そして、時間ができるはずだから丁寧な生活をしようと思っていましたが、自分のために凝った料理などするわけもなく、引き続き生協の時短アイテムが大活躍しています。今度息子が帰省する時は、冷蔵庫も冷凍庫も彼の大好きな生協商品を満杯にして待っていようと思います。

偶然の出会い



松江北支所 藤井 麻由美さん

生協に加入して1年がたちました。加入のきっかけは「偶然の出会いに不思議なご縁」を感じたことでした。せっかく加入したからには「生協のことをもっと知りたい」そんな思いから加入してすぐの、春の総代・組合員交流会に思い切って参加しました。これまでは、仕事中心でご近所づきあいがなかった私ですが、おしゃべりパーティーを使って話しやすい近所のお姉さまを自宅にお招きし、町内会のこと、みなさんの暮らしなどを聞くことができました。その中の一人が生協の組合員だったと分かり、今ではそのつながりをサークル活動として登録しています。そして、この4月からは松江北支所エリア委員会としての活動も始めました。若い世代の方と交流できることが新鮮で学びも多いです。これからも生協での出会いを楽しみながら、自分らしい暮らしを創っていきたいと思っています。

命をつなぐライフライン



雲南支所 杉谷 三紀子さん

生協の組合員になって5年足らずですが、5年間でいろんなつながりができ、心豊かに生きることができるようになりました。エリア委員、ブロック応援隊、e〜な隊、おしゃべり会、サークル活動等素敵な友に出会いました。それから今住んでいる奥出雲町の現状をお話します。人口は1万900人弱で高齢化率は約50%です。年間200人の人口減少に伴い、各商店、公共機関、ガソリンスタンドなどが年々消滅していく現状です。近所にスーパーはなく主に生協商品で生活していますが、豪雪地帯への配達は本当に頭が下がる思いです。命をつなぐライフラインとして地域の生協が発展することを切に願っています。そしてこれからも生協と共に楽しい暮らし方をしていきたいと思っています。

創立40周年記念事業

レセプション



おかげさまで生協しまねは創立40周年を迎えることができました。行政をはじめ、地域諸団体の方々、お取引の方々、そして7万人余りの組合員と共に創りあげてきた40周年をお祝いし、そしてこれからの10年、20年を描くスタートとなる1年となりました。

40周年記念アイデア集



組合員さんが日々のくらしの中で見つけたアイデアやレシピ、情報を1冊にまとめた「40周年記念アイデア集」を作成しました。

交通安全教室



生協しまねでは毎日100台以上のトラックを走らせています。交通安全教室を企画したことで40周年の節目に地域に恩返しをしたいという思いがかたちになりました。

各エリアでのフェスタ開催



各エリアで、40周年をお祝いのフェスタを開催しました。

食の応援

地元メーカーへの見学や学習会を積極的に行いました。メーカー、生産者から直接お話を聞いたり、作業工程などを見ることで理解が深まり、地元の商品をあらためて見直す機会となりました。

サン・くらふとの会



産直提携先の一つである「サン・くらふとの会」から生産者さんが3名、生協しまねを訪れ、出雲市、浜田市でそれぞれ組合員交流会を開催し、生産者さんとの絆を深めました。

『まい!しまねの牛乳』
カウベルミルクガーデン(株)



産直商品「まい!しまねの牛乳」の指定酪農家の1つである伊藤牧場(カウベルミルクガーデン)にて交流会を開催しました。生産者からは酪農の現状についてのお話を聞いたり、ミルクやり体験や生乳を使ったバターづくり体験をしました。

田植えのようす



また、5月には『産直こめたまご』を産む鶏のエサとなる飼料米の田植えを、そして秋には稲刈りを行いました。こめたまごのこだわりだけでなく循環型農業や食の大切さを学ぶ機会となりました。

稲刈りのようす



みらいへつながる



漁船へ、日御碕地区にお住まいの組合員にお届けする商品を積み込むようす

7月9日(火)、激しい大雨の影響により、日御碕地区と市の中心部とを結ぶ県道29号が崩落し、日御碕地区の235世帯がほぼ孤立状態となりました。日御碕地区には当時62名の組合員が在籍しており、商品のお届けが危ぶまれましたが、組合員に生協商品をお届けするために知恵を出し合い、職員のご家族や漁協さんの協力により、漁船を使用して海路で商品をお届けすることができました。

共に生き 共に創る



組合員さんがカタログで商品を購入し、その商品を直接フードバンクしまね「あったか元気便」へ寄贈するという新しい形でのフードドライブを実施しました。



大田市と生協しまねは「包括連携協定」を締結しました。お互いの強みを活かしながら、安心安全なくらしづくりにつながるよう、災害以外の分野を含んだ全7項目について、連携を始めています。



2024年2月には、益田市と地域活性化包括連携協定を締結しました。子育て支援や地域の見守り活動など、行政と一緒に取り組むを進めていきます。高齢化率70%以上の益田市匹見下地区では、住民の買い物問題解決に向けて自治組織・公民館と一緒に取り組んでいます。



匹見下いの里づくり協議会
匹見下地区地域魅力化応援隊員
寺西 泰一さん

総代会では、地域の状況や買い物支援の協働にいたった経緯、また実際にスタートして1年が経過した状況について直接お話をしてくださいました。

「第41回通常総代会」にて、 『2025年 わたしたちの平和宣言』 を採択しました



この平和宣言は全国の生協組合員・職員から寄せられた平和メッセージをもとに、被爆・戦後80年の今日的な状況を踏まえ、わたしたちが考える「平和」を、生協らしく築いていくことをあらためて確認する宣言となっています。

受け取った人たちが自分のこととして平和を考え話しあう場が生まれること、平和について言葉にする体験が広がることを願います。

あたたかいご飯が食べられること、安心して眠れること、健康にすごせること、大好きなものを「好き」と言えること、誰かといっしょに笑いあえること。わたしたち生協はこのようなくらしを大切にするために、人と人とがつながり助けあえる社会をめざしてきました。

過去の戦争では、国内外で多くの命が失われました。そして、日常のくらしがなくなり、自分らしく生きられない人たちもたくさんいました。平和こそ、日々のくらしを支える原点だということを、あらためて確認します。

世界には今も戦争によって命に危険がせまり、安心してくらしえない人々がたくさんいます。さらに核兵器が使われるかもしれないという不安が広がっています。

戦争をなくすこと、二度と核兵器が使用されない世界をつくること。これは、被爆者や戦争体験者のねがいでもあり、彼らの悲しくつらい体験を聞き、学びあいを積み重ねてきたわたしたちのねがいでもあります。唯一の戦争被爆国で生きるわたしたちの責任として、彼らの思いを受け継ぎ、次の世代にたしかに渡していきます。

わたしたちは、一人ひとりが考え、みんなで話しあい、意見の違いを受け入れ、たがいを尊重しあえる場づくりを大切にしていきます。そして、つながることで、平和へのねがいを大きな力に変え、戦争も核兵器もない世界を実現していきます。



総代会では、松江南支所総代の荒木さんによって、この宣言を読み上げられました。



2025年度方針

- 1、日々のくらしづくりの土台である「食」と「食文化」をより豊かにしていく取り組みを上げていきます。そのためには、普段の暮らしを持ち寄ること、特に商品を真ん中にしたくらしのおしゃべりは、共感や発見、そして「自分らしく生きる」ことにもつながり、人間の持つ社会性を育む上でも大切なことだと考えます。
- 2、人と人との関係性が希薄化する中、地域社会において、「連携する力、つなぐ力、つながる力」を磨き、新たな関係性を生み出していきます。そして誰もが安心してくらし続けることができる持続可能な地域社会をめざし役割を果たしていきます。
- 3、「共に生き、共に創る」組織として、「つながる」ことを基本とした生協の運営や事業は益々重要です。職員も組合員も取引先も共につながって、ビジョン実現に向け活動していきます。
- 4、国連が2030年を目標に進めるSDGs17の課題達成と、「誰一人とり残さない社会」実現に向け組合員と共に努力していきます。
- 5、県内農業及び生産者への支援と地産地消を推進するため、子会社である「㈱まい・しまね流通ラボ」を通じ、農産物の集荷・出荷機能を高め、県産品の普及と拡大を進めていきます。

第2号議案

2024年度決算及び剰余金処分案について

●2024年度の事業状況

供給高：94億7,447万円
(予算比100.8% 前年比101.8%)
一人当たり1回の平均利用高：4,595円(前年差+96円)
組合員数：72,744人
2024年度加入組合員数：3,551人
出資金額：31億212万円
一人当たり平均出資金額：42,644円

●剰余金処分

I 当期末処分剰余金	212,197,247円
II 剰余金処分額	
1. 法定準備金	70,000,000円
2. 利用分量割戻金	9,600,000円
3. 出資配当金	9,300,000円
4. 任意積立金	
(1) 別途積立金	17,000,000円
(2) 税効果会計積立金	5,000,000円
(3) 修繕積立金	30,000,000円
(4) 災害対策等積立金	20,000,000円
(5) 資産再評価等積立金	15,000,000円
合計	175,900,000円
III 次期繰越剰余金	36,297,247円

第3号議案

2025年度予算について(主な数値)

供給高：95億9,750万円 (前年比 101.3%)
経常剰余金：1億960万円 (前年比 55.2%)
期末組合員数：73,544人 (純増 800人)
夕食宅配供給高：2億5,140万円 (前年比 108.8%)

第4号議案

役員報酬の限度額(総額)について

役員の年間報酬(当期7月～翌期6月)については、下記の総額の範囲とし、その範囲内における各役員の報酬額、支給方法について、理事については理事会に、監事については監事会の協議にそれぞれ一任されました。
(1)理事(常勤理事4名、有識理事2名、組合員理事17名)の報酬 総額 5,950万円
(2)監事(非常勤監事3名)の報酬 総額 260万円

議案採択結果

議案	賛成	反対	保留
第1号議案	195	0	1
第2号議案	195	0	1
第3号議案	195	0	1
第4号議案	195	0	1

おかえり!



私たちの「産直こめたまご」

～産直こめたまごのお届けを再開しました～

昨年10月に(有)旭養鶏舎で発生した鳥インフルエンザにより、約40万羽の鶏が殺処分となり、「産直こめたまご」供給が中止となりました。出荷再開にむけた長期にわたる旭養鶏舎のみなさんの努力により、8月より「産直こめたまご」のお届けが再開しました。

6月17日(火)に行われた第41回通常総代会にて当時の状況や現在の状況についてお話していただきました。

発生直後の状況

「まさか」というのが鳥インフルエンザが発生した時の正直な気持ちでした。鳥インフルエンザ発生予防のため準備は多々しておりましたが、いざ発生すると全くと言えるほど準備とは違った対応が必要となりました。

発生後は、会長をトップに速やかに対応いたしました。発生翌日には、生協ひろしまさんの鶏卵生産者さん（全農ひろしま）にご連絡いただき代替え商品の提案をいただきました。



有限会社 旭養鶏舎 竹下 靖洋 社長

8月1回から供給再開

今年の3月にすべての検査を終え、新しく鶏を迎え入れました。7月から「初なたまご」を再開し、8月1回からは「産直こめたまご」を再開しました。



(有)旭養鶏舎 竹下社長からのメッセージ

鳥インフルエンザ発生時点では再開がどうなることかと思われましたが、皆さまからの心温まるお言葉やメッセージをいただき、再開の日をむかえられたこと、社員一同喜んでおります。引き続き「産直こめたまご」をよろしくお願いいたします。

(有)旭養鶏舎 応援募金贈呈式

第41回通常総代会にて、鳥インフルエンザからの復興を願い、組合員のみなさんから寄せていただいた応援の気持ちが込められた応援募金の贈呈を行いました。

こめたまごファンのお一人、出雲支所総代 恩田さんより贈呈していただきました。



第41回通常総代会での応援募金贈呈のようす

出雲支所総代 恩田さん

昨年のニュース大変驚きました。発生から今日までどれだけの努力や苦労があったかと思うと本当に胸が痛みます。こめたまごを利用登録している私は、旭養鶏舎さんのこめたまごだけでなく、プリンや茶わん蒸し、味付けたまごなどもとても楽しみにしています。これからもよろしくお願いいたします。



総代募集 ～あなたの思い・声が生協に届く～

生協しまねは、ビジョン「共に生き 共に創る豊かな暮らし」のもと、日々のくらしづくりの土台である「食」と「食文化」をより豊かにしていく取り組みを進めています。そして「一人ひとりの自分らしいくらしづくり」を大切に、誰もが安心して暮らせる地域・社会づくりを組合員のみなさんと一緒に創っていきたいと思います。

総代
って？



生協でいろいろなことを決める場合、すべての組合員が集まって決めることができればよいのですが、約7万人の組合員が一つの場所に集まって意見交換することは現実的には困難です。そこで一定の選挙区ごとに選出された『総代』が通常総代会へ参加し、方針など大切な事項を審議・決定します。



何を
すれば
いいの？



『総代』は、特別な知識や経験は必要ありません。総代・組合員交流会や通常総代会の場、総代アンケートなどを通して、自分のくらしや自分の住む地域について生協に伝えます。そして、これからの生協がどうあったらよいか一緒に考えます。



2025年度「総代立候補」のお申込み

問合せセンター **0120-336-021**

にお電話の上、支所名・班名・組合員コードをお知らせください。

受付時間：月～金曜日／8:30～20:00
土曜日／9:00～17:00



▲こちらからでもお申込みできます

総代立候補
申し込み期間は
2025年8月22日(金)
午後5時30分までです。

総代の1年間

2025年9月 総代選出

任期は2025年10月1日～2026年9月30日までです。

2025年10月 「秋の総代・組合員交流会」に参加します

年度方針に基づいて、生協しまねの各支所の「半年間の振り返り」「今後の取り組み」について話し合います。

2026年5月 「春の総代・組合員交流会」に参加します

生協しまねの各支所の「1年間の振り返り」「新年度の活動方針」について話し合います。

2026年6月 「第42回通常総代会」に参加します

生協しまねの活動の「1年のまとめ」と「新年度の方針」について、理事会からの提案を受け、代議員である総代(組合員)が確認し、決めていく場です。

2026年9月 次の総代が選出されるまでが任期です

わたしの お気に入り

からし高菜

150g

参考
価格 **218**円 (税込8%)
(235円)

【次回企画予定:シエル8月3回企画予定】



九州の三池高菜を
植物油でいためて
唐辛子を加えました。
炒飯にもよく合います！



組合員イチオシの商品を紹介するコーナーです



＊ここが＊
わたしの
お気に入り

出雲市 むのりんママさん

野口食品の「からし高菜」がとってもおいしくてごはんのお供に欠かせない1品です!! 友人にもすすめて「からし高菜」ファンを増やしています(笑)



生産者のみなさんと斎藤信一さんの園地にて

生協しまねの組合員と生産者がともに育てつくる葉とらずりんご「葉っぴー」は、取り組みを始めて今年で11年目を迎えます。毎年、多くの組合員が手に届くのを待ち望む生協しまねを代表する商品にもなっています。その産地である「津軽産直組合」へ今年も職員と組合員理事が視察・農業体験の研修に行ってきました。

今回、産地へ伺ったのは近藤元春さん（松江南支所）、矢田勇介さん（出雲支所）、妹尾あけみさん（組合員理事）です。6月18日（水）～20日（金）の3日間、どっぷりと「葉っぴーの産地」に浸かってきましたので報告します。



「葉っぴー」の産地、 津軽産直組合へ 行ってきましたー！

葉っぴーってどんなりんご？



葉とらずりんご「葉っぴー」の品種は「サンふじりんご」です。「葉っぴー」は、生産者の「見た目より味を重視したりんごづくり」の想いを受け、2014年に「葉とらずりんご」としてスタートし、2020年には、組合員さんの公募により「葉っぴー」に改名し、今年で11年目になります。通常のりんごは、太陽の陽に当てて実を赤くするため葉を取り除くのですが、「葉っぴー」は葉を残し光合成を促すことで、糖度が高くジューシーなりんごに育ちます。

青森県の雪害と産地の状況



現在、小林徹哉さん、斎藤康児さん、宮崎尚彦さん・幸平さん親子、斎藤穰一さん・信一さん・茂子さんご家族の4軒の生産者によって栽培されています。青森県は、昨年の12月から今年の2月にかけて記録的な大雪となり、農業被害額が214億8,000万円と過去最大の雪害となりました。その9割以上が「りんごの枝折れ」で、被害額は200億円を超えているそうです。

「葉っぴー」の園地も2～3メートルの積雪となり、その雪の重みで、枝が折れて大きな被害がありました。被害が出た園地では、収量が落ちるのではという懸念もありますが、生産者のみなさんは、厳しい冬を乗り越えたりんごの木としっかり向き合っていっていました。



積雪による倒木や枝折れの被害

摘果作業の様子



この時期は摘果作業の真っ最中でした。摘果作業とは、りんごの成長を促すために中心となる実を残し、その周りにある実を取り除く作業です。生産者4名の園地はそれぞれがとても広く、これを1人2人、もしくは3人で作業すると聞いて大変な作業だと実感しました。

摘果作業も、どれを残してどれを落とすのが悩ましく、経験が必要だと感じました。作業をしていると結実していない「カラマツ」の被害も実感しました。



生産者から
組合員への
メッセージ



本格的にりんごを栽培して2年目になりますが、気候変動や病害虫のサイクルが毎年のように変わり、りんごを栽培するだけでもなかなか難しいと実感しております。

6月には生協しまねの職員の方や組合員理事の方が産地研修に来られ、一緒に体験をし、交流を深め、今年も葉っぱーりんごをお届けしたいという気持ちがより一層強くなりました。

まだまだ暑い日が続きますが熱中症に気を付けながら頑張りますので応援よろしく願います。

(葉とらずりんご葉っぱー生産者 斉藤 譲一)

今回の訪問を通して



雪害の被害やカラマツの症状を実際に見ると、昨今の異常気象の中で作物を作る大変さを感じました。これから「葉っぱー」をたくさん食べて生産者を応援していこうと思いました。

(組合員理事:妹尾あけみ)



3日間を通して生産者の方々に直接お会いして、また体験をして「葉っぱー」のことが自分事となりました。組合員へ産直商品を伝え、応援してもらいたいという思いが強くなりました。

(出雲支所:矢田勇介)



今回の研修では、たくさんの生産者の方とお話することができ、それぞれの生産者が責任感と誇りをもって栽培に取り組んでいらっしゃる姿が印象的でした。「葉っぱー」は津軽産直組合の信頼・技術・協力で作られた結晶であると感じました。

(松江南支所:近藤元春)



今回、産地に伺って、あらためて自然と向き合いながら大変なお仕事であることを感じましたし、りんごが当たり前前にできるものではなく、当たり前私たちの手元に届くものでもないとも感じました。

秋には「葉っぱー」の予約企画を予定しています。これから、「葉っぱー」が順調に育つことを願い、みんなで利用して、産地を応援していきましょう。

(事務局;商品企画チーム 渡部 潤)

今週配布のだいすき8月3回に「葉っぱージュース」を企画しています。ぜひご利用ください。

津軽のかおり

10 参考価格 **798円** (税込8%) 注文番号 3936

3本セットもありますのでカタログ「だいすき」をご覧ください。



みんなあつまれ



あなたの声を
聞かせてください！



※次回企画予定は変更になる場合がございます

おしゃれな食卓に大变身

安来市 K・Nさん

ハンバーガーバンズとバーガーパティをセットで買っていましたが、バンズからこのパンに変わったので食べてみました。フランスパンよりもやわらかめだけど、しっかり歯ごたえのある、小麦の香り高いパンでした。パティを半分に切るのには面倒と思ったけど、そんなことを忘れさせるくらいパンがおいしいし、おしゃれな食卓に大变身って感じですよ。



【次回企画：だいすき8月2回予定】

反応が楽しい

出雲市 くろみつさん

先月、義父母との同居が始まりました。80代後半の2人に生協商品をどんどん紹介しようと思っています。新しいものに興味津々の元氣な義父母。反応が楽しみです!! 同居の大変さも覚悟した上で(笑)。

夏野菜

松江市 H・Fさん

夏野菜を植えたのが、グングン大きくなりました。トマトの種、ピーマンの種、自分でとったのを植えてたくさんできました。実がなってくれるでしょう。楽しみです。

怒るエネルギーは

松江市 M・Uさん

1日絶対怒らないと決めて実行し成功。2日目も...3日目も...。そろそろ2ヶ月近く経つけれど時々「ム」と思うが耐えて怒らず。怒るエネルギーは良いコトに使う!!

6月号を読んで

益田市 S・Mさん

「食材をムダなく、おいしく、安全に!」を読ませていただき参考になりました。私の住んでいる所は歩いてい

ける所にお店がないので、ついつい買物をしすぎる傾向にあります。CO-OPでも冷凍食品を買ってしまいがち。今回の内容を参考にしながら、ムダのない生活を心がけていきたいです。私がムダをしないためにやっていることは、常備菜や余った料理を密閉容器に入れて、日付を貼り、冷蔵しておくことです。その4日以内に食べきることを心がけて、実行しています。

奥深さを発見

松江市 まゆちんさん

春の総代・組合員交流会でプレゼンいただいた「味パック」。使ってみて、読んでみて、改めてだしの味の奥深さを発見しました。ふりかけを作って、使いつくす提案も好きです。

折り鶴

隠岐郡 ムーミンママさん

「折り鶴昇華再生活動」があることを初めて知りました。平和公園に飾ってあった折り鶴がこつこつた形で再生されてるとは知りませんでした。飾って終わりではなく、また再利用されるので、折り鶴を折った人の思いも続いていきますね。こういった活動がずっと続くといいなと思います。

感謝、感謝

松江市 N・Iさん

昨秋より「老老介護」の日々を過ごしています。案ずるより大変なこともあります。学ぶことも多くてたくさんの人たちに感謝、感謝です。脳トレも頑張つて、クイズや昔歌った童謡など思い出をたどっています。最近の歌は全くわかりません。カタログにCDが載ると時々買っていますよ。

応援しています

安来市 N・Kさん

旭養鶏舎さんのたまごの復活を、首を長くして待っています。今回、だいすきのカatalogに「鶏卵加工品セレクト4種セット」の販売があり、迷わず注文しました。従業員の方には、本当に大変だと思いますが、私にとつて生協といえば「こめたまご」というくらい、大ファンでいつづけます。応援しています。



飯石郡 しっぼさん

一人ひとりの 平和



息子とともに

出雲市 HANA K Oさん

まだ息子が小学生の頃、生協しまねのピースナイターに2回参加させてもらいました。球場全体でイマジンの大合唱。あの一体感は今でも忘れることはありません。息子が広島大学の大学へ進学し、1年次の平和学習に合わせ5月の連休に家族で原爆ドーム、資料館へ行きました。私自身、小学生の修学旅行以来の見学で、改めて恐怖を感じました。息子が一番長く資料を読んでいたのも印象に残っています。卒業までに平和について一緒に考えてみたいものです。

つないでくれた命

浜田市 M・Sさん

私は小倉出身です。小さい頃から「長崎の原爆は本当は小倉に落とす予定だった。だから長崎の人に足を向けて寝られない」と言われてきました。もし小倉に原爆が落ちていたら母は確実に亡くなっていたでしょうから、当然私はこの世にいないでしょう。今私たちの命があるのも戦争をくぐりぬけた人たちが命をつないでくれたからです。その命で戦争で命を落とした方が守ってくれたことを引き継いでいかなければいけないと思います。

世界中の全ての人に

大田市 T・Oさん

今、世界各地で戦争や紛争が起こっています。そこに住む一人ひとりを思うと心が痛みます。家族と一緒に温かい夕食を囲み談笑すること。これがあれば平和じゃないでしょうか。一日も早く世界中の全ての人に普通の本当に「ふつうの日常」を！

思いやりと優しい気持ち

出雲市 N・Iさん

私が平和だなあと感じるのは子どもや家族と遊んだりお喋りしてみんなで過ごしているときです。くだらないことで笑ったり何気ない日常に、ふと平和だなあ、幸せだなあ、と感じています。テレビやネットで悲しい事件や戦争のニュースを見る度に胸が苦しくなり、なんでこんなことをするんだろうというも思っています。思いやりの心や優しい気持ち忘れずにみんながいられたら、世界が平和になるのかなと思います。

一人ひとりの幸せ

出雲市 A・Wさん

自分、家族、友だち、職場の仲間、みんなが元気でいること。笑顔でいること。一人ひとりの幸せがみんなの幸せにつながる、ゆくゆくは世界平和につながるんだと思います。

無事一日すごせること

出雲市 S・Mさん

今日一日、無事一日すごせること、ぜ

いたく生活より人さまにめいわくかけないで自分のことができるだけでありがたいことです。世界では今も戦争が終結していないことに心がいたみます。一日も早く全世界が平和でありますように!!

いつも通り

安来市 マエちゃん

朝気持ちよく目覚め、仕事に行けて、仕事帰りに海や山を眺めながらお弁当を食べ、帰宅し、いつも通り家事をこなした後、夜お楽しみみのTVの録画を再生して見ているとき。

普通に食事を

松江市 H・Sさん

私にとつての平和とは、普通に毎日食事ができることです。世界中の子どもたちが食糧不足で苦しんでいるような社会になれば良いですね。

お腹いっぱい

松江市 R・Nさん

お腹が減ってイライラするとかケンカしてしまうことがあります。お腹いっぱいだと大らかな気持ちになり、許せることも増えます。国民が満たされるくらいのお米があり満足すれば平和な世の中になるかな！

思いやり懸命に生きていく姿

松江市 S・Wさん

平和について考えてみると、40年以上生きてきて人生折り返し地点を過ぎた

にも関わらず、案外うまく表現できないことに気づきました。そして、頭よぎったのは宮沢賢治の『雨にも負けず』。この詞を約80から90年前に書いた作者の感性にも驚きますし、理想像を描きながら他者を思いやり懸命に生きていく姿が平和に通ずるものがあると感じました。

実行することの難しさ

松江市 前岡子さん

一番強く望む平和は「世界平和」だが最も身近な、日々の我家の平和もとても大事である。国と人間とは大きく違うようでとてもよく似ているとも思える。両方とも平和の秘策は「相手を思いやる」「冷静に話し合う」ことではないかと頭ではわかっているのだが実行することは何と難しいこと！しかし国も人間も平和を願い、その為の努力をすることは最も大切なことだと思う。

自然に

浜田市 H・Hさん

平和とは自然に生きること。

絵本から

出雲市 K・Mさん

ある絵本で、「平和っていいことは、『ほくが生まれてきてよかった』っていうこと」という言葉に胸を打たれました。誰もが生まれてきたことを祝福され、健やかに育つことが平和だと思います。

フードバンクしまね「あったか元気便(夏休み便)」 パッキングボランティアを募集します!

「パッキングボランティア」にご協力をお願いします! "ぜひ一緒に参加したい"、"誰かのお役に立ちたい"など、ご興味のある方はぜひご応募ください。初めての方でも大歓迎です!



お米やお菓子、インスタント食品などのフードドライブ商品がたくさんの企業・団体から集まっています。その商品を段ボール箱に詰めて、最後にメッセージカードを添えて、各ご家庭に発送します。

「パッキングボランティア」への参加は事前にお申し込みが必要となります。
参加を希望される方のお名前と希望日程を連絡先にお伝えください。

日程
① 8月19日(火) 14:00~
② 8月22日(金) 15:30~
③ 8月22日(金) 18:00~

会場 いきいきプラザ島根
(松江市東津田町1743-3 1F・体育室)

連絡先 フードバンクしまね「あったか元気便」事務局
松江市西津田町3-5-16
JAしまね津田支店2階
TEL: 0852-67-7350
FAX: 0852-67-7351
月~金 10:00~16:00



申し込み
締切り
8月15日(金)

災害支援基金にご協力をお願いします

近年、豪雨や地震による河川の氾濫、家屋の損壊など自然災害が続発しています。生協しまねは2013年に「災害支援基金」制度を設け、年間を通じて組合員から寄せられる募金を積み立て、万一災害が起きた際でも迅速に被災地や被災者支援に役立てます。

これまでも、台風19号により被災されたりんごの産直産地、長野県「サン・くらふと会」の生産者の被災家屋やりんご畑の復旧にあたる職員の派遣費用に使わせていただきました。

昨年度は累計2,183,721円の募金が集まりました。ありがとうございました。

災害支援金へは、年間を通じてOCR注文用紙・eふれんずでいつでも募金できます。

募金方法①「注文書」の場合

募金額: (一口100円単位) 例えば...500円を募金する場合

注文番号: 1521

注文書裏面下段の「4ケタ・6ケタ商品注文欄」に右詰で【1521】と記入し、注文数の欄に【5】と記入します。

※翌週の納品請求書に「(非) 災害支援基金一口100円」と表示・請求し、商品代金とあわせて口座振替します。



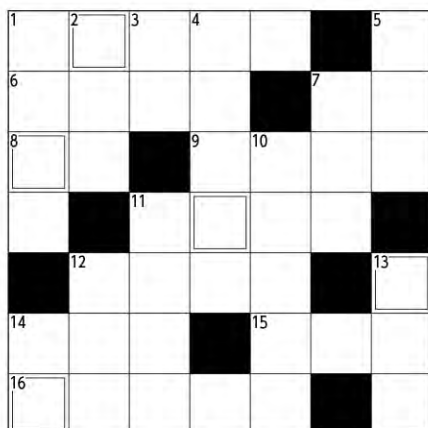
募金方法②「インターネット注文 (eふれんず)」の場合

『番号注文』をご選択ください。【1521】を入力し、注文数をご入力ください。

注文番号はメモして
保管ください

- よこのカギ**
- ① ウナギのかば焼きを刻んでご飯の上に乗せた料理。
 - ② 普通。英語で。
 - ③ 子ギツネの鳴き声。
 - ④ 間違いはバツ。正解は?
 - ⑤ 不安や驚きのために心臓の動悸が速くなるさま。好きな人を見つめるだけでも。
 - ⑥ 前回り、逆上がり...練習しましたね。

- たてのカギ**
- ① 日本代表の選手たちが背負っているのは?
 - ② 道具。英語で。
 - ③ お母さんのこと。
 - ④ 顔つきも体つきも強そうな犬種。
 - ⑤ 気が短いこと。〇〇〇は損気。
 - ⑥ 心臓の規則正しい動き。
 - ⑦ 南アフリカ共和国のケープ半島の先端にある岬。
 - ⑧ 空の低いところ。〇〇〇飛行。
 - ⑨ 貸し与えること。
 - ⑩ スポーツ用品のメーカー名。スニーカーも人気。
 - ⑪ 糸を通して使う、裁縫に欠かせない道具。



- ⑫ 給与、勤務時間などの雇用条件。
- ⑬ 五、七、五のリズムで季語を使います。
- ⑭ 15周りを囲むこと。
- ⑮ 太刀と脇差など、二つの武器を持って戦うスタイルを〇〇〇〇〇〇〇〇といいますが。

お楽しみクロスワード
正解者の中から
抽選で20名の方に
図書カード500円分を
プレゼント
□の中の文字を並べかえて言葉をつくってください。
当選者の発表は、図書カードの発送をもってかえさせていただきます。

ウ	リ	シ	ン	カ	イ
キ	ユ	ウ	リ	マ	チ
ワ	ッ	シ	ヨ	イ	バ
ク	ロ	ク	マ	シ	ン
ア	サ	ガ	デ	ン	ク
ロ	ッ	ク	シ	ノ	ビ
マ	ク	シ	ヨ	ウ	リ

☆6月号のお楽しみクロスワードは、応募者303名、全員正解でした。

答えは15ページの投稿用紙に
記入してください
締め切り▼8月31日(日)
7月号の答え▼アマノガワ

みんなのくらぶ

～あたらしい
組合員活動のカタチ～

今回は子育てくらぶ
「のんびりチューリップクラブ」
(安来市)の活動を紹介します。

「のんびりチューリップクラブ」は、今年度新しく結成されたくらぶです。

声を掛け合って結成

以前から「子育てくらぶ」の存在は知っていたものの、なかなかメンバーが集まらず結成にはならなかったそうです。しかし、「せっかくならやってみよう！」とママ友つながりで声をかけ合い、スタートすることになったそうです。

この日は、「七五三はどうする?」「今度の保育園の行事、楽しみだね」といった会話でにぎやかでした。また、先輩ママさんの経験談も貴重な情報源になっているようで、「離乳食でそうめんを使うときは、袋の上から細かく砕いておくと、ゆでた後に細かく切る手間が省けるよ」といった実践的なアドバイスも飛び出しました。



交流の場



くらぶの魅力をたずねると、「ゆっくり話せる時間」と話してくださいました。メンバーの2人はお子さんが同じ保育園に通っているそうですが、日頃の送り迎えで、タイミングが合えば立ち話をする程度。いつもはゆっくり話す時間がないけど、このくらぶが集うきっかけになっているそうです。ママ同士だけでなく、子どもたちの交流の場にもなっていて、一緒に遊ぶ姿が微笑ましかったです。忙しい日々の中で、このくらぶの時間は、子育てや家庭のこと、くらしの知恵など、たくさん話ができて貴重な場となっているようです。

育児の話から暮らしの知恵まで、みんなで共有する“おしゃべりの時間”。同じ地域で子育てをしているからこそ、分かり合えることがあり、また新しいつながりができました。

みなさんもくらぶ活動、サークル活動をはじめませんか?

活動名	おしゃべりくらぶ	子育てくらぶ	サークル
対 象	組合員3名以上で結成できます。	妊娠中から末子が就学前までのお子さんを持つ組合員3名以上で結成できます。	組合員を含む3名以上で結成できます。組合員でない方も登録できます。
活動内容	月に1回(何回でも)集まって、何でもおしゃべりします。生協から毎月“お楽しみ商品(試食品)”をお届けします。	月に1回(何回でも)集まって、子育ての情報交換などおしゃべりします。生協から毎月“お楽しみ商品(試食品)”をお届けします。	自分たちの興味・関心ごとについて、自分たちのペースで集まります。
活 動 補 助 費	○年間6,000円 年度途中の結成の場合は 残りの月数×500円	○年間6,000円 年度途中の結成の場合は 残りの月数×500円 ○子育て応援費 上限5,000円 託児費・会場費のみに使えます。	○年間上限3,000円 ※生協の施設を無料で使用できます。 ※補助費の対象となるには、半数以上が組合員で構成されている必要があります。 ※年間を通じて申し込みいただけますが、補助費の対象は9月までの登録サークルとなります。

組合員活動についてくわしい内容を知りたい方は 生協しまね 組合員活動

検索

お申し込みは… 問合せセンター 0120-336-021 まで

(月～金曜日/8:30～20:00 土曜日/9:00～17:00)

①希望する活動 ②組合員名 ③組合員コード をお伝えください。こちらからもお申込みいただけます。⇒

